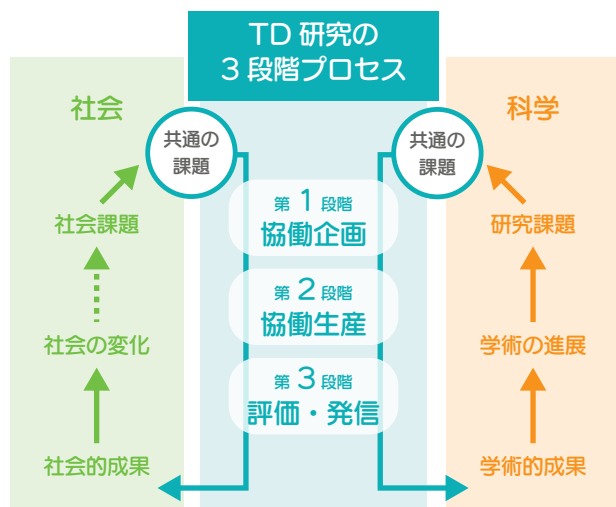


地球温暖化、生物多様性の危機、大気・水汚染など、私たちの地球は今、さまざまな環境問題に直面しています。これらの問題は、人間の社会活動の進歩に伴い、引き起こされてきました。長い時間をかけて、広い地域にわたって進行してきたものゆえ、その解決は決して容易ではありません。研究者は、自然の複雑なプロセスを解明し、社会経済の状況を把握するなど、重要な役割を担っています。しかし、科学的成果が社会で長期的に活かされるためには、各方面で問題に関わる当事者が主体的に研究に関ることが重要です。

「知の共創プロジェクト」では、科学者と社会の当事者が一緒に研究に取り組む、「共創」による研究の経験を集め、分析、体系化することで、「実践のためのフレームワーク」を提案することを目指します。経験者が実践から得た「学び」を活かし、広く伝えることで、共創の取組が広がり、持続可能な未来の社会の実現に向けて貢献します。



共創 (co-creation) とは、問題に関与している多様な立場の人たち (ステークホルダー) が、問題の解決に向けて一緒に考え、話し合い、解決策を生み出していくことです。日本の科学技術政策では、科学技術者と、それ以外の関係者が、共創を通じて研究や開発を行うことが強く推進されています。

共創に近い考え方として、海外では、トランスディシプリナリティ (transdisciplinarity, TD) という概念が 50 年以上前から使われてきました。TD 研究 (transdisciplinary research) は、実社会の問題に対処するために、科学者と、住民や政府、企業等のステークホルダーの異なる知識を融合し、実行可能で効果的な解決策を考案することを目指す研究のことです。TD 研究では、研究プロセスの各段階において、科学者と実社会のステークホルダーが協働して研究を進めることを推奨しています。

地球研や、地球環境研究に関する国際プログラム「フューチャー・アース」では、TD 研究を推進しています。近年、TD を使った研究論文も増加しています。一方で、TD の実践のあり方は多様化し、TD とは何を指すのか、共通した理解が得られていない実情もあります。そこで私たちは、TD に関する文献や事例を分析し、その再定義を行うことを活動の柱の 1 つとしています。そして、TD だけでなく、アクションリサーチや参加型手法など、ステークホルダー連携を伴う類似の手法を含めた包括的な概念として、「共創」という言葉を使っています。



持続可能な社会に向けた共創の取組を推進するためのウェブサイト、「環境トモシル」を立ち上げました。共創やトランスディシプリナリティの実践に役立つ基礎知識や心得、助成金等の情報の他、世界各地で行われた事例を紹介しています。

**STORY 1**

田んぼのにぎわいと地域のうおい

滋賀県・琵琶湖流域

**STORY 2**

住民参加型の温泉資源モニタリング

大分県別府市

**STORY 3**

灌漑用水の公平な分配と管理

インドネシア  
南スラウェシ州地域

このプロジェクトは、3つのテーマに沿って活動しています。

### 1 「共創」の事例を広く分析

#### TD Landscape

世界各地の共創の事例を収集し、取組の内容と成果を分析することで、トランスディシプリナリティの再定義と類型化を試みます。

### 2 「共創」からの学びを調査

#### Lessons learnt

共創プロジェクトに参画した科学者や当事者の知見を体系化し、実践で使える『心得集』を作成します。また、共創研究プロジェクトを通じて、現地の人々の生活や認識がどう変化したかを調査し、プロジェクトの社会における成果を明らかにします。

### 3 「共創」に関する教育と連携

#### Capacity/network building

共創に関する知見を共有するためのプラットフォームを開発、運営しつつ、共創を効果的に学ぶための教材を作成します。共創に関心のある研究者と実践者のネットワークを構築し、持続可能な社会に向けた共創の取組を推進します。

#### 1. TD Landscape

文献のレビュー  
事例の収集と分析

#### 2. Lessons learnt

経験者の「学び」の体系化  
社会的成果

#### 成果物

TDの再定義と類型化  
共創の心得集  
共創の社会的成果  
教育・学習用教材

#### 3. Capacity/network building

ウェブサイトの開発・運営  
教育・研修の実施

知の共創プロジェクトでは、さまざまな専門家と共創しつつ、環境問題に取り組んでいます。関心のある皆様のご参加、お問い合わせを歓迎します

お問い合わせはこちら

プロジェクト HP  
環境トモシル

<https://cocreationproject.jp/>



#### プロジェクト・リーダー



大西 有子

地球研 助教

オックスフォード大学地理環境学部博士課程修了 (Ph.D.)。国際連合食糧農業機関 (FAO)、国立環境研究所等の勤務を経て、2014年より現職。専門は、地球温暖化影響評価、生物多様性保全。



〒603-8047 京都市北区上賀茂本山 457 番地 4

075-707-2100 (代)

075-707-2106 (代)



## 知の種を集めて未来を育てよう

「知の共創プロジェクト」は、総合地球環境学研究所の研究プロジェクトです。

環境問題解決に挑んだ共創の場から得られた知識・知恵を集め、体系化し、共有することで、共創の輪を広げ、持続可能な社会の実現をサポートします。